

2022年5月25日

各位

株式会社 もみじ銀行

株式会社海田運輸の「SDGs経営立ち上げ支援サービス」利用による 『SDGs宣言』策定について

もみじ銀行（頭取 小田 宏史）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGsに関する取り組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、『SDGs宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、『SDGs宣言』を策定されたお客さまについて、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 企業概要

企業名	株式会社海田運輸
所在地	広島県安芸郡海田町三迫1丁目2-3
代表者	行重 直幸
業種	道路貨物運送業
URL	http://kaitaunyu.co.jp

※株式会社海田運輸の『SDGs宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役員全員の 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当：松浦 TEL：082-567-5280
事業性評価部 ソリューション推進グループ 担当：小林 TEL：082-241-3652



株式会社海田運輸 SDGs宣言

当社は、「何事においても思いやりの精神を持って行動する。」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年4月1日

株式会社海田運輸

代表取締役 行重 直幸



重点項目(ターゲット2030)

「思いやりの精神」のサービス提供

皆さまの多様なニーズにお応えできるよう、確かな技術と細やかな配慮で、安心・安全に高品質なサービスを提供します。「思いやりの精神」を第一に、これからも皆様に満足いただける企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

多種多様なニーズにお応えした輸送業務、教育訓練体制の整備、資格取得支援制度、事故・トラブル対応研修の実施、事故・トラブル時の手順書作成



環境に配慮した経営

環境に配慮した車両の導入やエコドライブ等を通じて、環境負荷の低減に努めます。また廃棄物削減や節水にも努め、持続可能な事業活動を目指し、豊かな社会の実現に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

エコドライブの推進、クリーンディーゼル車導入、省エネ設備の導入、廃棄物削減、節水、消費燃料の管理



明るく働きやすい職場づくり

すべての社員の健康と安全に努め、コミュニケーションを重視した、明るく働きやすい職場を目指します。社員とその家族を大切に、社員の声を尊重した職場環境の整備に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

「健康企業宣言」への取り組み、ハラスメント研修の実施、公正な評価制度、長時間労働の是正、人間ドック等の活用、設備等の充実



地域社会との共生

災害時の体制整備や地域行事への参加を通じて、地域社会の発展に取り組みます。これからも地域とともに歩み、地域に貢献していける企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

地域行事への参加、災害発生時の体制整備、地域雇用、地元企業との取引、ステークホルダーの皆さまとの対話



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。